

5 あゆみ

5 あゆみ

5-1 大気環境測定のおゆみ

平成16年3月現在

1956年	(昭和31年7月)	降下ばいじん量の測定、デポジットゲージ設置16カ所
1957年	(昭和32年5月)	二酸化鉛法による硫黄酸化物の測定15カ所
1964年	(昭和39年3月)	二酸化硫黄自動測定装置を衛生試験所に設置
1965年	(昭和40年3月)	二酸化硫黄自動測定装置を大師支所、中原保健所に設置
1966年	(昭和41年11月)	ばい煙常時監視用テレビ本庁公害課に設置
1967年	(昭和42年3月)	風向風速自動記録装置を本庁に設置
1967年	(昭和42年5月)	二酸化硫黄測定装置にテレメータを設置、本庁と大師保健所(大師支所から移設)
1967年	(昭和42年8月)	国設大気汚染測定局(田島保健所)の管理運営が委託される。
1968年	(昭和43年3月)	大気汚染集中監視装置を本庁舎に設置 大師保健所、川崎保健所、中原保健所の二酸化硫黄、粉じん、風向、風速の測定値がテレメータにより本庁内でただちに監視できる体制となる
1970年	(昭和45年5月)	国設川崎(田島保健所)にテレメータを設置
1970年	(昭和45年10月)	4測定局にオキシダント測定装置を設置
1971年	(昭和46年3月)	一般環境大気測定局を御幸保健所に設置
1971年	(昭和46年3月)	本庁舎前に「大気汚染状況電光表示盤」を設置し、大師、田島及び中央地区の二酸化硫黄濃度等の表示を開始
1971年	(昭和46年5月)	一般環境大気測定局を高津支所、稲田保健所に設置
1972年	(昭和47年4月)	公害監視センターが完成
1972年	(昭和47年6月)	公害監視センターの大気汚染自動監視システムが完成
1972年	(昭和47年12月)	自動車排出ガス測定局を市役所前に設置
1973年	(昭和48年3月)	自動車排出ガス測定局を幸区遠藤町交差点、中原区木月4丁目交差点に設置
1974年	(昭和49年3月)	自動車排出ガス測定局を川崎区新川通り交差点に設置
1974年	(昭和49年3月)	光化学スモッグ一斉通報装置が完成(昭和61年11月撤去)
1975年	(昭和50年3月)	自動車排出ガス測定局を高津区高津十字路に設置
1975年	(昭和50年3月)	大気汚染状況タイプ式通報装置が完成(昭和61年3月廃止)
1978年	(昭和53年3月)	一般環境大気測定局を宮前区鷺沼配水所構内に、また自動車排出ガス測定局を多摩区役所前に設置
1978年	(昭和53年12月)	大気自動監視システムの機能更新(230-28設置)
1979年	(昭和54年3月)	一般環境大気測定局を麻生区百合丘第1公園内に、また自動車排出ガス測定局を宮前区馬絹交差点に設置
1981年	(昭和56年3月)	自動車排出ガス測定局を麻生区多摩消防署柿生出張所及び川崎区池上新田公園に設置
1983年	(昭和58年3月)	大気自動監視システムのコンピュータ(FACOM-R→U-1200)及び周辺機器等の一部を更新
1985年	(昭和60年3月)	高津十字路の自動車排出ガス測定局を道路拡幅のため廃止
1986年	(昭和61年4月)	高津土木事務所構内に二子自動車排出ガス測定局を設置、測定開始 (高津十字路自動車排出ガス測定局の代替)
1989年	(平成元年3月)	大気自動監視システムのコンピュータ(230-28→A-80)及び周辺機器等の一部を更新(U-1200は使用)
1989年	(平成元年3月)	市役所前の大気汚染電光表示盤を更新

1992年	(平成4年3月)	木月4丁目交差点自動車排出ガス測定局を用地返還のため廃止
1992年	(平成4年5月)	多摩区役所前の自動車排出ガス測定局を区画整理のため廃止
1992年	(平成4年10月)	中原区中原平和公園に自動車排出ガス測定局を新設、測定開始 (木月4丁目交差点自動車排出ガス測定局の代替)
1993年	(平成5年1月)	多摩環境大気測定局(登戸小学校)に移設、測定開始(多摩保健所の代替)
1993年	(平成5年12月)	多摩区本村橋交差点に自動車排出ガス測定局を新設、測定開始 (多摩区役所前自動車排出ガス測定局の代替)
1995年	(平成7年3月)	大気自動監視システムのコンピュータ周辺機器の一部を追加、更新 (U-1200を廃止し、新規A-80を発生源大気専用、既設A-80を環境大気専用とする。)
1995年	(平成7年4月)	池上自動車排出ガス測定局で浮遊粒子状物質の測定を開始
1996年	(平成8年2月)	大気自動監視システムのテレメータを更新(FATEC→CME) (国設川崎局を除く。)
1996年	(平成8年4月)	中原平和公園自動車排出ガス測定局で浮遊粒子状物質の測定を開始
1997年	(平成9年4月)	本村橋自動車排出ガス測定局で浮遊粒子状物質の測定を開始
1998年	(平成10年4月)	二子自動車排出ガス測定局で浮遊粒子状物質の測定を開始
1999年	(平成11年4月)	新川通及び柿生自動車排出ガス測定局で浮遊粒子状物質の測定を開始
2000年	(平成12年2月)	大気自動監視システムのコンピュータ(A-80→GP7000)及び周辺機器を更新
2000年	(平成12年4月)	遠藤町自動車排出ガス測定局の採取口を国道1号方向へ延長、 車道端から2m
2000年	(平成12年4月)	市役所前、遠藤町及び馬絹自動車排出ガス測定局で浮遊粒子状物質の測定を開始
2000年	(平成12年4月)	池上自動車排出ガス測定局に風向風速計を設置
2000年	(平成12年8月)	市役所前自動車排出ガス測定局の採取口を県道川崎府中方向へ延長、 車道端から10m
2001年	(平成13年3月)	馬絹自動車排出ガス測定局を廃止
2001年	(平成13年4月)	宮前平駅前に自動車排出ガス測定局を新設、測定開始 (馬絹自動車排出ガス測定局の代替)
2002年	(平成14年3月)	大気自動監視システムのテレメータ子局(国設川崎局)を更新 (FATEC→CME)
2003年	(平成15年4月)	日進町に自動車排出ガス測定局を新設、測定開始 (新川通自動車排出ガス測定局の代替)

5-2 大気発生源測定のおゆみ

1970年	(昭和45年8月)	神奈川県緊急時措置対象工場であったSO ₂ 排出量10m ³ N/h以上の37社39工場と「大気汚染防止に関する協定書」を締結
1972年	(昭和47年1月)	川崎市の緊急時措置対象工場であるSO _x 排出量5m ³ N/h以上の8社8工場と「大気汚染防止に関する覚書」を交換
1972年	(昭和47年9月)	協定・覚書工場42工場を対象とした発生源亜硫酸ガス自動監視システムが完成
1978年	(昭和53年12月)	使用熱量2×10 ¹⁰ kcal/年以上、かつ、重油換算燃料使用量(常用最大)1.5kl/h以上の32工場を対象とした発生源窒素酸化物自動監視システムが完成
1994年	(平成6年4月)	「発生源大気自動監視システムの計測器等の保守管理に関する要綱」と「水質テレメータ計測器並びにテレメータ子局等に係る保守管理要領」を一本化し、新たに「川崎市発生源自動監視システムの計測器等の保守管理に関する要綱」を施行
1995年	(平成7年3月)	発生源大気自動監視システムのコンピュータ(U-1200→A-80)及び周辺機器の一部を更新
1996年	(平成8年2月)	発生源大気自動監視システムのテレメータ親局を更新(FATEC→CME)
2000年	(平成12年2月)	発生源大気自動監視システムのコンピュータ(A-80→GP7000)及び周辺機器を更新